

「SGH基調講演会」を開催しました！

5月29日（金）15:30より、長崎大学の片峰茂学長をお招きし、「長崎でグローバルを考える」をテーマに、SGH基調講演会を開催しました。高校1年生全員で、世界的な視野を持つ人材になるための心構えを聴講しました。

冒頭では、トヨタ自動車やセブンイレブンなど身近な企業によるグローバルな展開と、「日本企業は海外に進出していかなければ経営が成り立たない」という言葉を紹介されました。地球温暖化、食糧問題、感染症、テロや戦争など地球規模の課題に挑戦していく必要性を説かれ、「地域の課題を解決しようと努力することが、世界貢献につながる」というメッセージをいただきました。まさに東高が取り組んでいるSGH研究（グローバルスタディ「ナガサキタイム」で実施）の研究理念と同じ考えを述べられ、多くの生徒が「長崎の課題を考えていく重要性が認識できました」と感想文に記していました。また、「長崎で一流の仕事をするれば、世界の中心へ伝わる」という熱い思いを語られました。

今後の入試改革についてもお話があり、東高が取り組もうとしている「アクティブラーニング」型の授業形態は「断然たるアドバンテージがある」と高く評価していただきました。

ご講演の最後には、DNAの二重らせん構造を提唱し、1962年にノーベル生理学・医学賞を受賞された分子生物学者のジェームス・ワトソン博士（長崎大学にも訪問されたそうです）のメッセージをいただきました。

“Try to use your life for something that does change the world.” by J. Watson

「世界を真に変革する何かのために、君の人生を使おうとしないさい」

ご講演を受けて、生徒を代表し1年5組の大賀雄介君が、「挑戦する気持ちを忘れずに、努力を続けていきたい」と感謝の言葉を述べてくれました。

